



2021年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年3月10日

上場会社名 アゼアス株式会社
 コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年3月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 斉藤 文明
 (氏名) 羽場 恒彦
 TEL 03-3865-1311

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第3四半期の連結業績(2020年5月1日～2021年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第3四半期	7,379	0.1	546	79.9	619	96.9	441	103.5
2020年4月期第3四半期	7,375	6.1	303	116.0	314	83.9	216	87.7

(注) 包括利益 2021年4月期第3四半期 444百万円 (121.6%) 2020年4月期第3四半期 200百万円 (189.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第3四半期	78.46	
2020年4月期第3四半期	38.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第3四半期	8,537	5,941	69.6
2020年4月期	7,758	5,608	72.3

(参考) 自己資本 2021年4月期第3四半期 5,941百万円 2020年4月期 5,608百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期		0.00		20.00	20.00
2021年4月期		0.00			
2021年4月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2021年3月10日)公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,002	0.6	710	52.4	794	66.5	491	55.3	87.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(2021年3月10日)公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期3Q	6,085,401 株	2020年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	2021年4月期3Q	456,847 株	2020年4月期	456,847 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期3Q	5,628,554 株	2020年4月期3Q	5,621,036 株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2021年4月期3Q 113,700株、2020年4月期 113,700株)が含まれております。また、株式会社日本カस्टディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。(2021年4月期3Q 113,700株、2020年4月期3Q 121,218株) 株式会社日本カस्टディ銀行は、JTC ホールディングス株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社が2020年7月27日に合併し発足しました。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症流行による歴史的な落ち込み後、一時は緩やかな改善の気配が見られたものの、年末以降は、感染症再拡大の影響に伴い、対面型産業を中心として再び経済活動が縮小し、日本経済全体で低迷の長期化が見込まれる厳しい状況が続いています。このような環境下で、デジタル化の加速と新しい生活様式の定着という経済・社会構造の変化も進行し、企業活動は変革と需要構造の変化に対処していくことが求められています。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間においては、主力事業であります防護服・環境資機材事業が引き続き比較的堅調に推移し、売上高は7,379百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は546百万円（前年同四半期比79.9%増）、経常利益は619百万円（前年同四半期比96.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は441百万円（前年同四半期比103.5%増）となり、増収増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、有害化学物質から人と環境を守る、感染症から人と環境を守る、作業環境リスクから人を守る、という3つの営業活動を進め、当社の強みであるタイベック®防護服の安定供給と新規防護服分野の市場創造に注力してまいりました。その結果、売上高は4,361百万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント利益（営業利益）は721百万円（前年同四半期比58.4%増）となり、増収増益となりました。

機能性建材事業におきましては、利益率の確保できる商品の販売に注力しましたが、需要の縮小が続いており、売上高は735百万円（前年同四半期比18.3%減）、セグメント利益（営業利益）は16百万円（前年同四半期比42.1%減）となり、減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、取引先の在庫調整、及び、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、売上高は1,582百万円（前年同四半期比20.0%減）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同四半期比47.0%減）となり、減収減益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は243百万円であります。

(注) 「タイベック®」は、米国デュポン社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて11.1%増加し6,693百万円となりました。これは、主として商品及び製品等の棚卸資産が564百万円増加したためであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて6.5%増加し1,844百万円となりました。これは、主として持分法による投資利益や前払年金費用の増加等で投資その他の資産が84百万円増加したためであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて779百万円増加し8,537百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて27.3%増加し2,337百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金等の仕入債務が570百万円増加したためであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて17.3%減少し259百万円となりました。これは、主として長期借入金が56百万円減少したためであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて446百万円増加し2,596百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて5.9%増加し5,941百万円となりました。これは、主として利益剰余金が329百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月26日に公表いたしました2021年4月期通期の連結業績予想及び個別業績予想と、2020年6月12日に公表いたしました2021年4月期の期末配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年3月10日）公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,070,905	2,274,435
受取手形及び売掛金	2,232,707	2,227,993
電子記録債権	505,213	492,406
商品及び製品	924,836	1,457,752
原材料	141,335	173,026
仕掛品	1,953	1,661
その他	169,939	84,729
貸倒引当金	△20,484	△18,944
流動資産合計	6,026,408	6,693,060
固定資産		
有形固定資産	1,323,296	1,345,987
無形固定資産	75,155	80,011
投資その他の資産		
投資有価証券	143,985	159,206
その他	203,205	275,768
貸倒引当金	△13,374	△16,283
投資その他の資産合計	333,816	418,690
固定資産合計	1,732,268	1,844,689
資産合計	7,758,677	8,537,750
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,141,192	1,732,998
電子記録債務	274,549	253,273
賞与引当金	57,200	32,358
未払法人税等	106,620	93,865
1年内返済予定の長期借入金	74,988	74,988
その他	182,342	150,121
流動負債合計	1,836,892	2,337,604
固定負債		
長期借入金	118,779	62,538
役員退職慰労引当金	100,160	100,160
役員株式給付引当金	22,867	29,281
退職給付に係る負債	71,615	67,141
固定負債合計	313,422	259,121
負債合計	2,150,315	2,596,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,094,103	1,094,103
利益剰余金	3,846,218	4,175,557
自己株式	△256,769	△256,769
株主資本合計	5,571,197	5,900,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,556	3,380
繰延ヘッジ損益	545	-
為替換算調整勘定	45,175	37,107
その他の包括利益累計額合計	37,164	40,487
純資産合計	5,608,362	5,941,024
負債純資産合計	7,758,677	8,537,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2021年1月31日)
売上高	7,375,160	7,379,859
売上原価	5,935,303	5,792,717
売上総利益	1,439,856	1,587,141
販売費及び一般管理費	1,136,197	1,040,797
営業利益	303,658	546,344
営業外収益		
受取利息	353	743
受取配当金	2,576	4,795
持分法による投資利益	-	54,438
為替差益	1,611	-
業務受託料	-	13,500
補助金収入	3,750	70
保険解約返戻金	3,452	-
その他	1,420	5,603
営業外収益合計	13,163	79,151
営業外費用		
支払利息	521	429
保険解約損	1,187	-
為替差損	-	5,286
リース解約損	270	-
その他	102	71
営業外費用合計	2,080	5,787
経常利益	314,741	619,709
特別利益		
固定資産売却益	-	4
特別利益合計	-	4
特別損失		
減損損失	123	120
固定資産除却損	948	529
投資有価証券評価損	-	948
ゴルフ会員権売却損	7	-
特別損失合計	1,079	1,597
税金等調整前四半期純利益	313,662	618,115
法人税、住民税及び事業税	72,058	153,633
法人税等調整額	24,629	22,837
法人税等合計	96,688	176,471
四半期純利益	216,974	441,644
親会社株主に帰属する四半期純利益	216,974	441,644

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益	216,974	441,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,035	11,936
繰延ヘッジ損益	2,065	△545
為替換算調整勘定	△19,266	△8,067
その他の包括利益合計	△16,165	3,322
四半期包括利益	200,808	444,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,808	444,967

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

1. 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

2. 取締役等に対する株式給付信託 (BBT) の導入

当社は、当社取締役及び監査役 (社外取締役及び社外監査役を含みます。以下、「取締役等」といいます。) の報酬と当社の業績及び株式価値との連動性をより明確にし、取締役 (社外取締役を除きます。) が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めること並びに、社外取締役にあっては監督、監査役にあっては監査を通じた中長期的な企業価値の向上に貢献する意識を高めることを目的として、取締役等に対する新たな株式報酬制度「株式給付信託 (BBT (=Board Benefit Trust))」 (以下、「本制度」といいます。) を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」 (実務対応報告第30号 2015年3月26日) に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程 (ただし、役員株式給付規程のうち、監査役に関する部分については、その制定及び改廃につき、監査役の協議に基づく同意を得るものとしたします。) に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭 (以下、「当社株式等」といいます。) が信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時とします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額 (付随費用の金額を除く。) により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度59,793千円、113,700株、当第3四半期連結会計期間59,793千円、113,700株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	機能性 建材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,933,897	900,673	1,978,412	6,812,983	562,176	7,375,160	—	7,375,160
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	675	86	7,002	7,764	31,730	39,494	△39,494	—
計	3,934,572	900,760	1,985,415	6,820,748	593,906	7,414,655	△39,494	7,375,160
セグメント利益	455,224	28,801	62,580	546,606	14,541	561,148	△257,489	303,658

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△779千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△256,709千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	機能性 建材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,361,718	735,606	1,582,745	6,680,070	699,788	7,379,859	—	7,379,859
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,992	44	7,278	10,315	23,933	34,249	△34,249	—
計	4,364,711	735,651	1,590,023	6,690,386	723,721	7,414,108	△34,249	7,379,859
セグメント利益	721,028	16,669	33,190	770,888	18,841	789,730	△243,386	546,344

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額53千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△243,439千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「たたみ資材」としていた報告セグメントの名称を「機能性建材」に変更しております。この変更は名称変更のみでありセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の報告セグメントの名称で記載しております。